

市では、家庭から排出される温室効果ガスの削減に効果のある、環境に配慮した施設などの導入を促進するため、これらの設置および導入に対する経費の一部を補助します。(下表参照)。

【補助要件】
次の①～④すべてに該当していることが条件です。
①新規に購入・設置または導入する施設などである(一部リース可)
②市内の自宅または事業所に設置・導入する
③市税と国民健康保険税の滞納がない
④工事(導入)完了後、平成24年3月30日までに完了報告ができる

※必ず購入・設置工事着工前に申請してください
②週間前までの申請をお願いします。
※申請受付期間は平成24年2月29日(金)までですが、予算額に達し次第終了となります。

○環境に配慮した施設などの補助内容

施設の種別	平成23年度補助金額
雨水活用施設 (雨水活用施設として市販されている雨水タンクが対象)	1施設につき設置費の3分の1以内、 限度額 1万円
太陽光発電施設	発電能力1kwにつき 市：2万円、限度額7万円 県：1.5万円 限度額5.2万円 ※県の補助要件を満たした施設に対して上乗せされます。
エネファーム (家庭用燃料電池コージェネレーションシステム) ※リースでの導入も補助対象	1施設につき10万円
低公害車 (電気自動車・天然ガス自動車・メタノール自動車) ※通常の低燃費車・ハイブリッド車は対象外 ※リースでの導入も補助対象	1台につき10万円

ります。
環境政策課で配布の申請書類(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、同課に提出してください。

太陽光発電施設などへの補助制度

6月は環境月間です

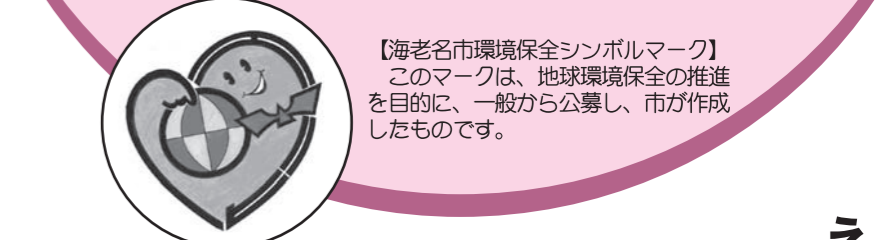
環境政策課 (☎235・4912)

環境問題は、一人一人が身近なところから取り組むことが重要です。環境月間を機に、「環境」について考え、私たちができることを始めましょう。

市では、環境問題について、興味を持ち関心を高めてもらうため、「えびな環境フェスティバル」をはじめ各種展示や講演会を開催します。



【低公害車展示】
市では、走行中の二酸化炭素排出量ゼロの電気自動車や、環境に優しいハイブリッド車を公道で走行させるため、環境啓発として活用しています。
また、この3月からこみ収集車の燃料として、菜種油などの廃油を利用したバイオ燃料を1台に使用しています。
これらの車両を次のとおり展示します。
▽日時 6月1日(金)9時～10日(金)16時
▽会場 市役所南側駐車場
▽展示車両 電気自動車・バイオ燃料こみ収集車
※車両は業務で使用することがあるため、期間中展示していないことがあります。展示日時などについては、お問い合わせください。
【展示部門】
▽日時 6月6日(日)9時30分～10日(金)16時
▽会場 市役所1階エントランスホール
▽展示内容 省エネルギー機器(太陽光発電施設、高効率給湯器など)、環境関連機器(生ごみ処理機・雨水タンクなど)、環境保全団体活動報告など
【エコ川柳・e・cコンテスト応募作品展示】
「家庭における省エネ行動」をテーマに募集したエ



【海老名市環境保全シンボルマーク】
このマークは、地球環境保全の推進を目的に、一般から公募し、市が作成したものです。

えびな環境フェスティバル 6月1日(水)～10日(金)開催

【低公害車展示】
市では、走行中の二酸化炭素排出量ゼロの電気自動車や、環境に優しいハイブリッド車を公道で走行させるため、環境啓発として活用しています。
また、この3月からこみ収集車の燃料として、菜種油などの廃油を利用したバイオ燃料を1台に使用しています。
これらの車両を次のとおり展示します。
▽日時 6月1日(金)9時～10日(金)16時
▽会場 市役所南側駐車場
▽展示車両 電気自動車・バイオ燃料こみ収集車
※車両は業務で使用することがあるため、期間中展示していないことがあります。展示日時などについては、お問い合わせください。
【展示部門】
▽日時 6月6日(日)9時30分～10日(金)16時
▽会場 市役所1階エントランスホール
▽展示内容 省エネルギー機器(太陽光発電施設、高効率給湯器など)、環境関連機器(生ごみ処理機・雨水タンクなど)、環境保全団体活動報告など
【エコ川柳・e・cコンテスト応募作品展示】
「家庭における省エネ行動」をテーマに募集したエ

地球にやさしい家庭づくりを～省エネにご協力を～

市では、家庭からの二酸化炭素の排出量削減のため、平成19年度から「地球にやさしい家庭づくり事業」を実施しています。これは、市内小学校5年生の家庭を対象に夏と冬の年2回、省エネ行動を実践、地球にやさしい行動を身近に感じてもらいながら普及を目指すものです。

同事業は、平成22年度までに、延べ30校・2,168世帯の協力のもと行われました。昨年夏の実践活動は下表のとおりで、今年度も引き続き活動に取り組みますので、皆さんも、省エネ行動の実践に、協力をお願いします。

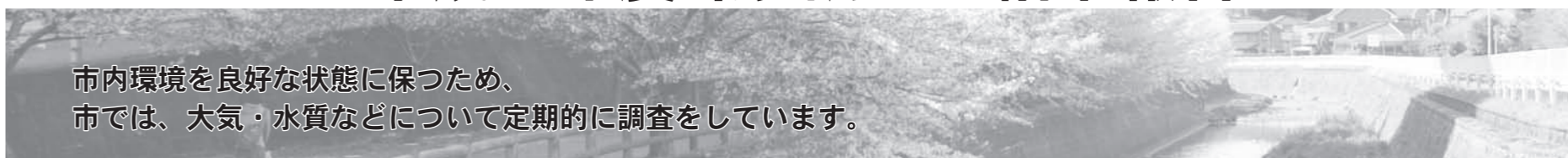
～地球にやさしい家庭づくり 平成22年夏 省エネ作戦～

	初級編	上級編
作戦① 冷房	エアコンの温度は28℃以上に設定しよう 室外の気温が31℃の時、エアコン(2.2kw)の設定温度を27℃から28℃に変更すると、1時間あたりの二酸化炭素排出量を3g減らすことができます。	冷房を使わない時間を増やそう 朝は一日で一番涼しい時間帯です。朝早く起きて窓を開け、空気の入れ替えをしましょう。また、うちわやお気に入りの風鈴で、涼しさを演出しましょう。
作戦② 照明	人のいない部屋は電気を消そう 白熱電球(54w)を1時間使うと20gの二酸化炭素が排出されます。蛍光灯(12w)を1時間使うと4gの二酸化炭素が排出されます。	昼間の明るい時間は照明の使用を減らそう 夏は、太陽が出ている時間が長いので、なるべくカーテンや雨戸を開けて電気の使用を減らしましょう。
作戦③ ごみ	ごみを分別し、ごみを減らそう 海老名市の平成21年度の1世帯あたりの家庭ごみは、1年間で平均429kg排出されています。1日一人当たりすると465gになります。	マイはし・マイボトルを持参しよう 外食する時は、自分のはしや水筒を持って行けば、割りばしや飲料水などのごみを減らすことができます。また、お弁当を作って出かければ、経済的にもお得です。
作戦④ 家電	使わない電気器具はプラグを抜こう プラグをコンセントに差しているだけで電気を使っています。これを「待機電力」といい、一般家庭の電力消費の6%を占めているといわれています。	使用しない家電製品など、家の片づけをしよう 使っていない電化製品はプラグを抜き、携帯電話やゲーム機の充電器もコンセントから抜きましょう。コードが片付いていれば、掃除機をかける時間も短縮できます。
作戦⑤ 給湯	お風呂は追いだきしないようにしましょう 湯沸し後2時間経過し温度が4.5℃下がったお湯200ℓを追いだきすると、二酸化炭素が238g排出されます。追いだきしないで済むよう家族で工夫して入浴しましょう。	シャワー(水・お湯)の流しっぱなしはやめよう 浴槽1杯(200ℓ)分のお湯は、シャワーを16分(12ℓ/分)使用量とほぼ同じです。浴槽のお湯は、洗濯などに有効利用しましょう。
作戦⑥ 買い物	買い物は「マイバッグ」をしよう レジ袋の日本での年間消費量は1人当たり約300枚とされています。買い物に行くときはマイバッグを持っていきましょう。	買う前に本当に必要かどうか考えよう 買ったものを使わなければごみと同じです。物を「作ったときのエネルギー」「買ったときのお金」「焼却するエネルギー」など、さまざまな無駄が出ます。
作戦⑦ 自動車	近所への外出は車を使わず、エコドライブを 車に乗るときは無用なアイドリングをしないなど、エコドライブを心掛け、環境に配慮しましょう。	移動は徒歩・自転車・公共交通機関で 電車・バスは、1台でマイカーより多くの人数が乗れます。みんなが電車やバスを利用すれば二酸化炭素排出量を減らせます。

事業所講演会
事業所の活動は、環境に大きな影響を及ぼすことがあります。事業所を運営している方を対象に、環境保全などに関する講習会を開催します。
▽日時 6月23日(金)13時30分～
▽会場 市役所703会議室
▽講師 神奈川県環境政策課 環境総合センター環境保全課 主事・瀬田章人氏
▽テーマ 「神奈川県生活環境の保全等に関する条例について」
▽対象 神奈川県生活環境の保全等に関する条例に定める指定事業所(対象事業所には別途通知します)。

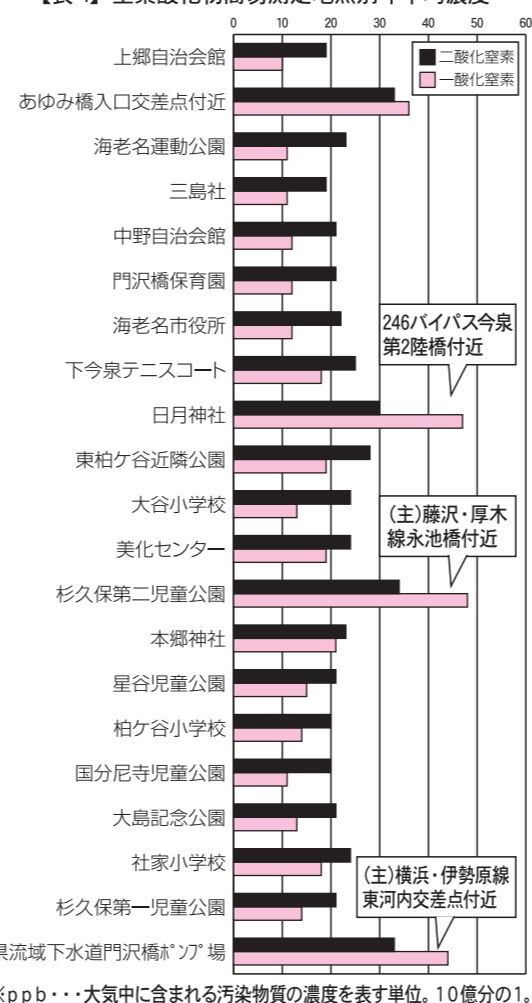


平成22年度環境調査の結果報告



市内環境を良好な状態に保つため、市では、大気・水質などについて定期的に調査をしています。

【表4】 窒素酸化物簡易測定地点別年平均濃度



【表2】 ダイオキシン類大気環境調査結果 単位: pg-TEQ/m³

調査地点	平成22年度 調査結果			環境基準
	1回目	2回目	平均	
柏ケ谷コミセン(東柏ケ谷)	0.033	0.034	0.034	0.6
市役所(勝瀬)	0.035	0.035	0.035	
上今泉コミセン(上今泉)	0.031	0.036	0.034	
社家コミセン(社家)	0.034	0.057	0.046	
下今泉コミセン(下今泉)	0.031	0.036	0.034	
本郷コミセン(本郷)	0.027	0.034	0.031	

※pg-TEQ/m³・・・大気1m³あたりのダイオキシン濃度。pgは1兆分の1グラム。
〔調査日〕1回目:平成22年9月29日～10月6日
2回目:平成23年1月19日～1月26日

【表3】 ダイオキシン類調査(土壌)

調査箇所	調査結果	環境基準
門沢橋小学校	0.98pg-TEQ/g	1,000pg-TEQ/g
上星小学校	2.9pg-TEQ/g	

※pg-TEQ/g・・・土壌1グラムあたりのダイオキシン濃度
〔調査日〕平成22年12月20日

◇水質
河川の水質はBOD(生物化学的酸素要求量)大きいほど汚染度が高い。などについて調査しました。市内を流れる主要な河川の平成22年度の調査結果は、永池川、貫抜川、目久尻川ともに環境基準値以下でした(表1)。

◇ダイオキシン類
大気中のダイオキシン類は、調査した6カ所すべての地点で環境基準を下回りました(表2)。また、市内2カ所(門沢橋小学校、上星小学校)での土壌中のダイオキシン類調査も環境基準に適合していました(表3)。

◇窒素酸化物
大気中の二酸化窒素などの窒素酸化物濃度は、PTI(簡易測定法)により調査しました。窒素酸化物は酸性雨や紫外線により光化学反応を起こし、光化学オキシダントを生成するなど、大気汚染原因物質の一つとなり、調査結果から、幹線道路沿いや渋滞の激しい交差点で、濃度が高くなっていることが分かります(表4)。

【表1】 主要河川BOD経年変化(平均値)

